

いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。



いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員のみなさんからの募金と協力、また、全国の生協からの支援のもと、変化する被災地の状況・要望に寄り添った支援を継続しています。

2018年度の活動②

ボランティアバス 大槌町へ運行



震災直後から運行を継続しているボランティアバス。9月2日、大槌町での最後の活動には、コープデリ連合会の役職員14人を含む33人が参加し、菜の花畑の整地と種まきを行いました。10月には陸前高田市で、12月には沿岸での年末昼食会を行います。

ご協力ありがとうございます

東日本大震災支援募金
391万1,732円

(8月20日現在)

「忘れない」の思いをモチーフにこめて

「内陸でもできる支援活動」として、被災された方に暖かい冬を過ごしてもらおうと始まった「毛糸のモチーフ作り」。このモチーフをつなげてひざ掛けを作り、岩泉町の仮設住宅にお住まいの約250人に贈る予定です。



24片をつなげて1枚のひざ掛けにします。

復興支援募金活用状況

被災地でのふれあいサロン	279万7,538円
グループ活動補助	68万4,432円
バスボランティア	66万4,385円
文化企画(宮古・けせん)	32万5,587円
復興応援ツアー	17万3,798円
その他	27万 280円
計	491万6,020円

(2018年3月21日～9月10日)

西日本豪雨災害支援

緊急支援募金

795万 277円

(9月6日現在)

ご協力ありがとうございました

お寄せいただいた募金は、日本生協連を通じて大きな被害を受けた府県に「義援金」として贈呈するほか、「支援金」として現地での支援活動に活用されます。

広島県へ職員2人を派遣

いわて生協では、この間の東日本大震災支援へのお返しの意味もこめて、全国の生協といっしょに支援活動に取り組んでいます。8月には、広島市安芸区ボランティアセンターの運営支援へ4日間ずつ2人の職員を派遣しました。



現地では、ボランティアの受付や機材管理などの活動を行いました。

忘れない 伝える 続ける つながる

COOP I W A T E いわて生活協同組合